

# メヒシバの薬剤防除



メヒシバ (6月: 発芽後1か月)



出穂したメヒシバ (9月)

メヒシバ イネ科 メヒシバ属

*Digitaria ciliaris* (Retz.) Koeler

近縁種

アキメヒシバ *Digitaria violascens* Linkコメヒシバ *Digitaria timorensis* (Kunth) Balansa

## 1. メヒシバの生育特性と防除の基本（芝生管理の徹底）

メヒシバは夏型の1年生雑草で、前年に地面に落下した種子が4月～6月に発芽、夏の高温期に極めて旺盛に生育して、11月に枯死するまでの夏から秋の長期間にわたって多数の種子を散布します。

芝生の地表近くで越冬したメヒシバ種子は春までに休眠から覚醒し、発芽最低温度（13～15℃）以上で適度な水分があれば4月～7月に大部分（90%）が発芽し、2年後でも発芽可能な種子はそれほど多くはない（10%以下）とされています。したがって、前年の種子散布量が多くても、メヒシバの発芽可能な種子は夏の終わりまでにほとんど枯渇するので、春から秋の半年間の徹底防除は翌年の発生個体数の抑制に大きな効果が期待できます。

また、メヒシバ種子は、光が存在すると発芽が促進される好光種子ですが、緑の葉を透過した緑陰光ではその効果が無いとされています。

このような特性を持つメヒシバに対する防除の基本は、以下の3点に要約できそうです。

- ① 芝生に発生したメヒシバは3～5葉の小さい時期に手除草するか、もしくは十分な施肥とやや高め（4～5 cm）で頻繁な芝刈りを実施して**成熟した種子の絶対量を抑制**すること
- ② 芝生に対する施肥・散水・芝刈りを適切に実施し、特にN肥料不足・散水不足・刈り遅れ・極端な低刈りにならないように心掛けて常に十分な葉面積を確保し、地表面に太陽光が当たらないようにして**メヒシバ種子の発芽を抑制**すること
- ③ ②と同様の理由により、春のトランジション期（4月～6月）におけるティフトンの葉の少なさをカバーするために、**冬シバのオーバーシーディングを実施**すること

以上の3つのメヒシバ防除の基本は、「鳥取方式®」の芝生管理の3原則（適切な施肥・散水・芝刈り）を忠実に実行することと同じであると言えます。



除草前



除草後

芝生に発生したメヒシバ (8月: 発芽後1ヵ月)

しかしながら、メヒシバは他の雑草に比べても生長が旺盛で、さらに種子の豊産性と早熟性（初秋：高温短日条件では短期間で出穂開花）にも優れており、たとえ芝生の一角の少数個体の発生であっても油断は禁物、翌年には広範囲で発芽する可能性があります。

芝生化してから年数を経過するに伴って、芝生内あるいは周辺の路傍から種子が飛散してメヒシバが次第に多くなる傾向があります。これに加えて、近年の化成肥料高騰の対応策としての肥料投入量の削減や冬シバのオーバーシーディングの省略によってメヒシバなどの雑草の侵入を助長した事例も見受けられ、薬剤防除の必要性が増しています。



ティフトン芝を占拠したメヒシバ（8月）



晩秋に枯死したメヒシバ（11月）

## 2. メヒシバが優占化した場合の薬剤防除

芝生内にメヒシバが大量に発生すると、上の写真のように芝生（ティフトン）を圧倒し、メヒシバが晩秋に枯死した跡はシバが全くない裸地となり、翌年は再びメヒシバがその場を占拠することになります。このようにメヒシバが広範囲に発生した場合は、手除草や芝刈りなどの管理作業の強化だけでは対応できず、適切な薬剤を散布してメヒシバを根絶することをお勧めします。裸地化した部分には6月にポット苗を移植（4~8株/m<sup>2</sup>）してください。

発生したメヒシバを枯死させる芝生専用の除草剤を用いる方法もありますが、夏シバ（ティフトン）が休眠中でメヒシバが発芽する前の早春（3月）に、発芽抑制効果が長く（約3ヵ月）持続する土壌処理剤を散布するのが最も効果的かつ安全であると考えられます。

なお、メヒシバに近縁のアキメヒシバなどが発生することもあります。薬剤防除の方法は同じです。

### (1) 散布時期：3月中旬~4月下旬

メヒシバの発芽最低温度（13~15℃）に達する3月中旬以降の約1ヵ月間

(2) 薬剤量：スパーダ顆粒水和剤 0.2~0.3g/m<sup>2</sup>（メヒシバ、オヒシバ、エノコログサ、カヤツリグサ、ヒメクグ等に効果）

(3) 散布方法：m<sup>2</sup>あたり水量200~300ml（1,000倍液）を薬剤が周辺に飛散（ドリフト）しないように風の弱い時間帯に噴霧口にフードを取り付けて地表全面に均等散布することをお勧めします。

なお、芝生に使用可能な発芽抑制剤としては、他にも複数の製品があります。地元で入手可能な薬剤の単価と必要量（経費）を比較検討して購入してください。

## 3. その他参考資料

「技術情報6 メヒシバの薬剤防除」の作成には、（株）理研グリーンの助言と情報提供を受けています。メヒシバ及び一年生イネ科雑草の発芽抑制剤に関して、（株）理研グリーン研究所からリーフレットが公開されていますので参考にしてください。

[spada.leaflet\(rikengreen.co.jp\)](http://spada.leaflet(rikengreen.co.jp))